

# 現市長

## 核問題でアメリカ、北朝鮮に抗議

核兵器の先制使用方針のアメリカ、核不拡散条約から脱退した北朝鮮に抗議。イラク問題で平和的解決をアメリカに要求。

## 接待費ゼロ・情報公開度 NO.1

市長の接待費ゼロ。市長部局の交際費も大幅減少。ムダな大型開発の見直しを表明。情報公開度は政令市で第一位。

## 地元業者を応援

公共事業の地元業者への発注率が75%に。低所得者の介護保険料・利用料の軽減など福祉、くらしを充実。

## 子どもを大切に

保育料4年連続すえ置き。舟入病院の24時間365日の小児救急体制確立。小学校1、2年生の35人以下学級実現。乳幼児医療費の就学前までの段階的無料化を公約。

## 口利き政治の廃止

市議から職員に「特定業者の入札への参加・排除」「職員の採用・昇任」などの不当な圧力がかかっていた事実を公表。公正・清潔な市政をめざす。

## 「市民による市民の市政」がモットー

タウンミーティングなどで市民の声に耳を傾け、18歳以上の住民投票制度を公約。

# 元助役

## アメリカのイラク攻撃に協力

元助役の応援団・自民党の山崎幹事長は国連決議なしのイラクへの武力攻撃を容認。(1月19日サンデープロジェクト)

## 汚職関連で処分!

6年前、厚生省汚職事件で責任者が逮捕。元助役は、この責任者のグループの一員。前平岡市長から公務員の倫理規定違反で処分を受ける。

## 「消費税引き上げ」を言い出した自民党が応援

「不良債権の早期処理」で中小企業をつぶし、リストラ野放しの小泉政治。その自民党が応援。

## 福祉切り捨てのプロ

公立保育園の廃止・民営化が持論。助役のとき、「すべての福祉(600項目)を見直す」と、老人医療費や敬老祝金などをバツサリ。保健所を統廃合。

## 汚職・腐敗の自民党が応援

加藤疑惑、ムネオ疑惑、党長崎県連など疑惑の政治家がゾロゾロの自民党。その自民党の応援を受ける元助役。

## 「官僚が日本を動かす」と公言

講演で、「市民参加・市民創意は、まやかし」「官僚が世の中を動かしている」と公言。住民投票にも否定的。

# 平和都市 広島にふさわしい市長は?

## 日本共産党は、現市政のよい面を発展させます

広島民報

昭和41年2月19日  
第3種郵便物認可

ご意見を  
お寄せください

2003年1月号外

日本共産党広島県委員会の見解を紹介します。

日本共産党広島県委員会

電話 082-228-3366 FAX 082-227-8120

日本共産党広島市会議員団

電話 082-244-0844 FAX 082-244-1567

Eメール k-shigi@jcp-hiro-shigi.jp

ホームページ <http://www.jcp-hiro-shigi.jp/>

# 政策そっちのけで 反共や汚い手口の勢力に 市政をまかせられるでしょうか

元助役を応援する自民党や公明党は、政策そっちのけで「共産党に市政を明け渡すな」などと叫んでいます。「広島市は平和都市です。共産主義は必要ありません」という出所不明の謀略ビラが電話ボックスに置かれたり、バス停に吊るされたりしています。

人格を傷つける聞くにたえない内容のメールが送られ、あちこちで口コミされています。政策をたたかわせて市民の代表を選ぶ大事な政治戦を、こんな汚いやり方でゆがめることは、絶対許せません。

市民の良識でキッパリと審判を下しましょう。

## 清潔・公正な市政のため

「口利き」「ウラ取引」政治にメスをいれた

**現市長**

## 現市長の追い落としをねらう勢力

広島市でも、あの鈴木宗男と同じ手口で、議員が人事や入札に不当な圧力をかけている実態が、昨年末あきらかにされました。

「大きな事業は議長やボス議員から事前に了解をとっておく」。そんな悪習がありました。さからえば、いじめやおどしが始まる。

いつもは起立採決だった助役の選任を、女性助役のときに限って無記名投票にして二度否決したのも、その一環です。

鳥取県の片山知事は、議会への「根回し廃止」を宣言。宮城県、長野県なども「なれあい政治」からの脱却を進めるなか、昨年11月には「口利き市政」からの転換を掲げ、日本共産党も応援した新市長が熊本市で誕生しました。

**これからは「清潔、公正、市民が主役」の時代です。**

反共や汚い手口は、利権政治を続けたい勢力のしわざです。

市の  
報告書  
より

議員による

こんなおどし、いやがらせが...

正当な理由なく、特定の業者を排除するよう求められた。

入札で行われている業務を、随意契約にするよう求められた。

要求を拒否すると声をあげる。

許可を早く出すように言われ、時間をいただきたいという、上司のところへ行って「あの職員を配置換えしろ」と言われた。

2002年12月 市の「事務執行のあり方に関する検討委員会」報告書より

デマをはねかえし、力をあわせて  
「市民が主役」の市政を

議員の「口利き」や利権政治を終わらせ、「市民が主役」の市政をつくる本格的な改革をすすめます。

長野県や熊本市、尼崎市などでも反共宣伝をはねかえし、くらしを守る政治が前進しています。

長野県では

田中知事が圧倒的支持で再選され、「脱ダム」を  
実行。30人規模学級などの県政改革がスタート  
しています。

尼崎市では

大型開発優先、福祉切り捨ての自民・公明の現職  
市長を破って女性市長が誕生。日本共産党も支  
持してがんばりました。新市長のもとで、予算を  
福祉や教育を重点に組み替える作業がすすんで  
います。

住民こそ主人公 これが  
日本共産党の立党の精神です

「有権者の意識のなかに芽生えない政党」といつ共  
産党への見方が広がっている。世論調査会社の  
社長さんが日本共産党のことをこのように評して  
います。

反戦、平和、民主主義、くらしを守る政治を、  
だれもが望んでおり、市政が少しでもその方向に  
向かおうとしているとき、日本共産党がそれを応  
援するのは当然です。反共宣伝は、正々堂々と政  
策であらそう政治戦を汚すだけです。